



社団法人 **日本機械学会**

The Japan Society of Mechanical Engineers

関東支部神奈川ブロック

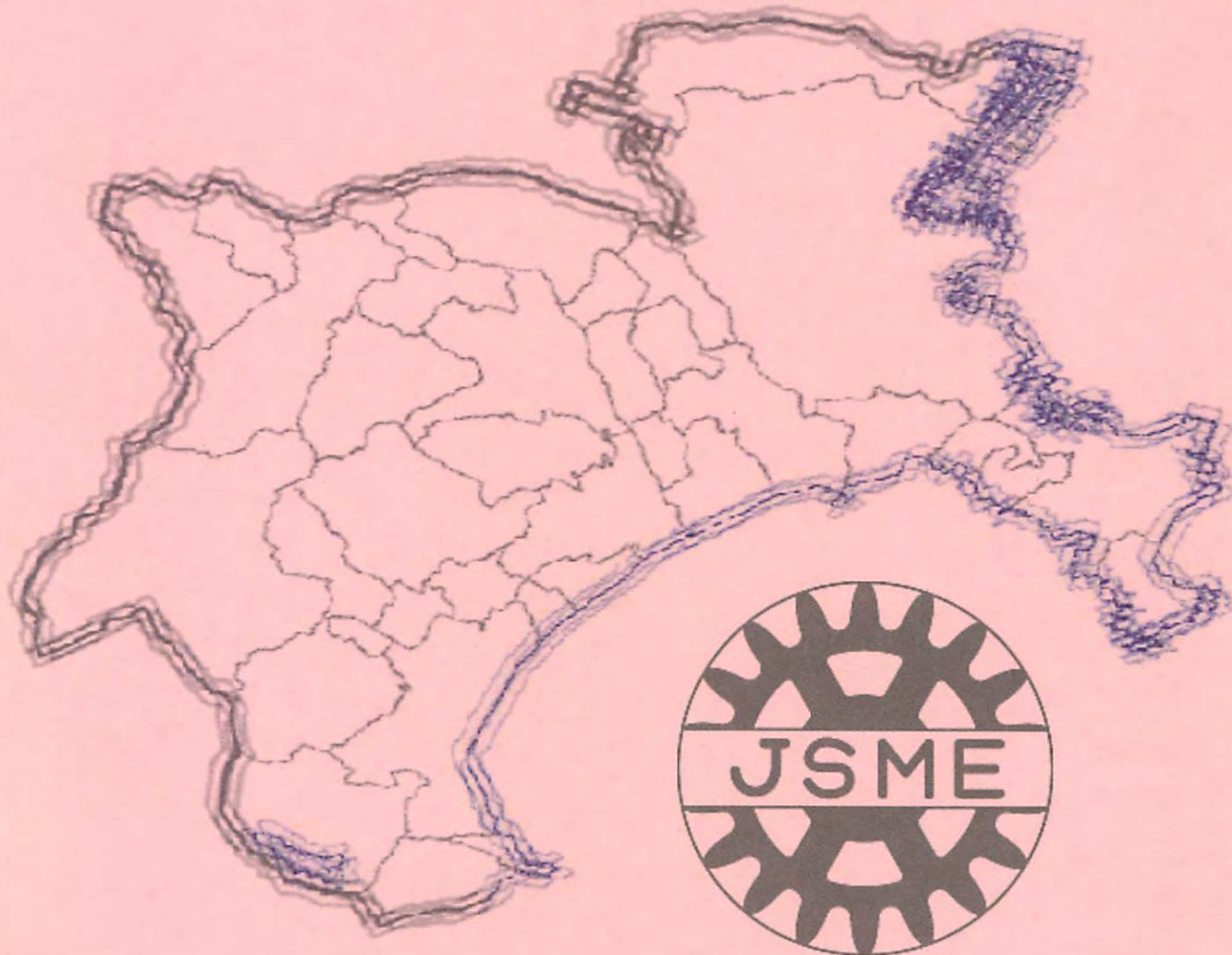
2003年度 年次総集

同時開催

(社)日本機械学会関東支部創立 10 周年記念

(社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック創立 10 周年記念

第 14 回 神奈川県産官学交流会 (工業県神奈川の将来)

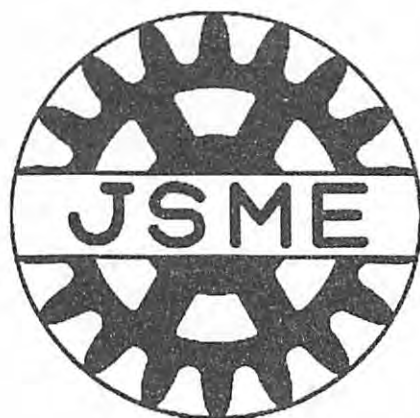


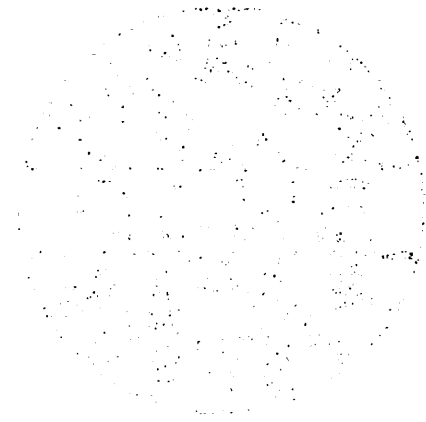
開催日：2003年11月20日（木）

会場：横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ

関東支部神奈川ブロック 2003年度 年次総集

第14回 神奈川県産官学交流会
(工業県神奈川の将来)





THE UNIVERSITY OF CHICAGO
LIBRARY

1950

1950

(社)日本機械学会関東支部創立 10 周年記念

(社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック創立 10 周年記念

2003 年度 (社) 日本機械学会関東支部神奈川ブロック 年 次 総 集

目 次

第 1 章 2003 年度関東支部第 10 期神奈川ブロック総会・・・・・・・・・・(1)

- 1-1. あいさつ (神奈川ブロック長)・・・・・・・・・・(3)
- 1-2. あいさつ (関東支部長)・・・・・・・・・・(5)
- 1-3. 祝辞 (お祝の言葉・神奈川県知事)・・・・・・・・・・(7)
- 1-4. 第 10 期(2003 年度)神奈川ブロック商議員・・・・・・・・・・(9)
- 1-5. 第 10 期(2003 年度)神奈川ブロック運営委員会委員・・・・・・・・・・(10)
- 1-6. 事業報告および事業計画・・・・・・・・・・(11)
 - 1-6-1, 2002 年度の報告および 2003 年度の中間報告・計画・・・・・・・・(11)
 - 1-6-2, 2003 年度神奈川ブロック表彰者一覧・・・・・・・・・・(21)

第 2 章 第 14 回神奈川県産官学交流会・・・・・・・・・・(23)

テーマ <工業県神奈川の将来>

- 2-1. 基調講演 (講演要旨)・・・・・・・・・・(26)
 - 衆議院議員・元労働大臣 甘利 明
- 2-2. パネルディスカッション (講演要旨)・・・・・・・・・・(28)
 - (1) 神奈川の製造業技術力の高度化について
神奈川県議会議員 保阪 努
 - (2) 産学連携による科学技術創造立県に向けて
(株)東芝 常務取締役 有信 睦弘
 - (3) 自動車技術の先端研究開発における技術力の向上
日産自動車(株)総合研究所 首席研究員 有田 正司
 - (4) 神奈川県産業技術総合研究所「ものづくり技術支援強化活動」
神奈川県産業技術総合研究所 副所長 馬來 義弘
 - (5) 中小企業の経営革新
(財)神奈川中小企業センター 統括マネージャー 小林 康夫
 - (6) 産学連携による研究開発
関東化成工業(株) 代表取締役社長 福原 國晃
 - (7) 慶應義塾大学工学部の教育研究活動
慶應義塾大学工学部長 稲崎 一郎

(8) 国立大学法人化と産学連携

横浜国立大学大学院工学研究院長 白鳥 正樹

2-3. 講師・パネリストのプロフィール	(56)
第3章 第8回神奈川フォーラム	(59)
<技術者教育・その3>	
第4章 関東支部神奈川ブロック歴代役員	(71)
4-1. 歴代ブロック長(運営委員会委員長)	(73)
4-2. 歴代ブロック商議員	(75)
4-3. 歴代ブロック運営委員会委員	(83)
第5章 関東支部神奈川ブロック表彰者一覧	(91)
5-1. 2000年度	(93)
5-2. 2001年度	(96)
5-3. 2002年度	(98)
第6章 関東支部神奈川ブロック企画事業一覧	(101)
6-1. 神奈川フォーラム関係	(103)
6-2. 神奈川県産官学交流会関係	(106)
6-3. 小中高校生のための見学会関係	(111)
6-4. 神奈川ブロック見学会・講演会関係	(113)
第7章 2003(社)日本機械学会関東支部第9期総会・講演会・懇親会	(117)
第8章 関東支部発行学会通信誌	(131)
神奈川ブロック関連記事一覧	
8-1. メガトップ関東(日本機械学会関東支部ニュースレター)	(133)
8-2. JSME-dia(ジェスメディア・日本機械学会関東学生会広報誌)	(147)
(協力企業)	(155)
(編集後記)	(169)

第 1 章

2003 年度(社)日本機械学会関東支部第 10 期

神奈川ブロック総会

- 1-1. あいさつ (神奈川ブロック長) (3)
- 1-2. あいさつ (関東支部長) (5)
- 1-3. 祝辞 (お祝の言葉・神奈川県知事) (7)
- 1-4. 第 10 期(2003 年度)神奈川ブロック商議員 (9)
- 1-5. 第 10 期(2003 年度)神奈川ブロック運営委員会委員 (10)
- 1-6. 事業報告および事業計画 (11)
 - 1-6-1, 2002 年度の報告および 2003 年度の中間報告・計画
 - 1-6-2, 2003 年度神奈川ブロック表彰一覧

あいさつ



(社)日本機械学会関東支部第10期
神奈川ブロック長 宮武 俊弘
(関東学院大学工学部 教授)

2003年度(社)日本機械学会関東支部神奈川ブロック総会を迎えるにあたり、また同時に関東支部創立10周年、関東支部神奈川ブロック創立10周年を迎え、関係者一同喜びを大きくしている次第であります。

(社)日本機械学会の会員数に関する動向は、総合計40348名、関東支部17034名、神奈川ブロック5178名(平成15年9月末日現)であり、長く続いている大変きびしい社会状況の影響によるものと考えていますが、近年少々減少しつつあります。しかしながら、神奈川ブロックは、元気ある機械工業界を目指して、先人達が永年にわたって構築されてきた道筋を守りながら、活動を続けなければならないものと考えています。

関東支部神奈川ブロックは、創立以来①神奈川フォーラム、②神奈川県産官学交流会、③小中高校生のための見学会、④企業見学会・講演会、⑤学生(学部生・大学院生)との交流会等を開催し、産官学の関係者が一同に集い、そして機械工学・機械工業界相互の交流をより深めることに注目しています。そして、若い技術者の教育・指導、特に次世代を担う心豊かで倫理性の高い技術者の育成等を主たる目標とし、さらに中小企業と学会との交流会をも含めて、活動を継続しているところであります。なかでも、神奈川県産官学交流会については、本年度で14回を数えることとなり、現在神奈川ブロックにおける活動の大きな中心となり、よって、機械工学・機械工業に関係された先人達のご功績に対して、ここに深く感謝申し上げる次第であります。

本年度の産官学交流会は《工業県神奈川の将来》と題し、産業界、官公庁・研究所、学校・教育機関、および政界をも含めて、基調講演ならびにパネルディスカッションを企画し、短い時間ではありますが、多くのパネリストからの一言を頂き、京浜工業地帯の中心である機械工業(物づくり工業)神奈川の将来に対して、多少なりとも活力の一つになることを願い、ここに開催致しました。

おわりに、2003年度神奈川ブロック総会および産官学交流会を、神奈川ブロック創立10周年の祝賀をも含めて開催するに対して、高いご理解・ご指導を賜った新堀典彦氏(県議会議員)ならびに県商工労働部各位のご尽力、さらに多くの関係各位からのご協力に対して、ここに厚く御礼申し上げる次第であります。

1. 在 1990 年，美國政府宣佈將向中國提供 10 億美元的貸款，以支持其經濟改革。這項貸款是美國政府「中國改革貸款計劃」的一部分，旨在幫助中國政府改善其金融體系，並促進其經濟發展。

2. 然而，這項貸款的提供也引起了一些爭議。一些人認為，美國政府應該在提供貸款之前，先確保中國政府能夠履行其債務義務。此外，也有人擔心，這項貸款可能會被中國政府用於其他目的，而不是用於改善其金融體系。

3. 儘管如此，美國政府最終還是決定提供這項貸款。這反映了美國政府對中國經濟改革的信心，以及美國與中國之間的友好關係。

4. 在 1990 年，美國政府宣佈將向中國提供 10 億美元的貸款，以支持其經濟改革。這項貸款是美國政府「中國改革貸款計劃」的一部分，旨在幫助中國政府改善其金融體系，並促進其經濟發展。

5. 然而，這項貸款的提供也引起了一些爭議。一些人認為，美國政府應該在提供貸款之前，先確保中國政府能夠履行其債務義務。此外，也有人擔心，這項貸款可能會被中國政府用於其他目的，而不是用於改善其金融體系。

6. 儘管如此，美國政府最終還是決定提供這項貸款。這反映了美國政府對中國經濟改革的信心，以及美國與中國之間的友好關係。

7. 在 1990 年，美國政府宣佈將向中國提供 10 億美元的貸款，以支持其經濟改革。這項貸款是美國政府「中國改革貸款計劃」的一部分，旨在幫助中國政府改善其金融體系，並促進其經濟發展。

8. 然而，這項貸款的提供也引起了一些爭議。一些人認為，美國政府應該在提供貸款之前，先確保中國政府能夠履行其債務義務。此外，也有人擔心，這項貸款可能會被中國政府用於其他目的，而不是用於改善其金融體系。

9. 儘管如此，美國政府最終還是決定提供這項貸款。這反映了美國政府對中國經濟改革的信心，以及美國與中國之間的友好關係。

10. 在 1990 年，美國政府宣佈將向中國提供 10 億美元的貸款，以支持其經濟改革。這項貸款是美國政府「中國改革貸款計劃」的一部分，旨在幫助中國政府改善其金融體系，並促進其經濟發展。

11. 在 1990 年，美國政府宣佈將向中國提供 10 億美元的貸款，以支持其經濟改革。這項貸款是美國政府「中國改革貸款計劃」的一部分，旨在幫助中國政府改善其金融體系，並促進其經濟發展。

12. 然而，這項貸款的提供也引起了一些爭議。一些人認為，美國政府應該在提供貸款之前，先確保中國政府能夠履行其債務義務。此外，也有人擔心，這項貸款可能會被中國政府用於其他目的，而不是用於改善其金融體系。

13. 儘管如此，美國政府最終還是決定提供這項貸款。這反映了美國政府對中國經濟改革的信心，以及美國與中國之間的友好關係。

14. 在 1990 年，美國政府宣佈將向中國提供 10 億美元的貸款，以支持其經濟改革。這項貸款是美國政府「中國改革貸款計劃」的一部分，旨在幫助中國政府改善其金融體系，並促進其經濟發展。

15. 然而，這項貸款的提供也引起了一些爭議。一些人認為，美國政府應該在提供貸款之前，先確保中國政府能夠履行其債務義務。此外，也有人擔心，這項貸款可能會被中國政府用於其他目的，而不是用於改善其金融體系。

16. 儘管如此，美國政府最終還是決定提供這項貸款。這反映了美國政府對中國經濟改革的信心，以及美國與中國之間的友好關係。

日本機械学会神奈川ブロック総会・



産官学交流会開催に当って

日本機械学会関東支部

支部長 早山 徹

このたび日本機械学会関東支部神奈川ブロックが創立 10 周年を記念し、県内各界の指導的立場におられる方々の御臨席を賜り、総会・産官学交流会を開催させていただきますことを主催者の一人としてよろこんでおります。ご参加頂く皆様方をはじめ、日頃から当神奈川ブロックの活動にご支援、ご協力頂いております皆様に対し心より御礼申し上げます。

日本機械学会は、わが国の機械および機械システムとその関連分野の研究者、技術者の集団として 100 年を越す歴史を有し、約 36,000 名の会員を擁して、学問の進展はもとより社会の発展に貢献してまいりました。その中で関東支部は 10 年前に発足し、特に地域に密着した活動を通して産業の発展や若い技術者の育成に少しでもお役に立つべく努力してまいりました。この間の努力が実を結び、その具体的な成果が現れつつあることはまことに喜ばしい限りです。特に神奈川ブロックは京浜工業地帯をはじめとする企業群と多くの優れた大学を擁し、日本の機械関連産業の先導役を担って頂いており、その中で産官学連携が積極的に進められますことは極めて意義深いことであると思います。

わが国のもの造り産業の大きな転換期に、再び元気な日本を取り戻すために産官学連携が重要視されているなか、神奈川県の皆様のご努力が具体的な成果を生み、さらに日本全国に波及することを大いに期待しております。



お祝いの言葉

神奈川県知事 松沢成文

2003年度社団法人日本機械学会関東支部第10期神奈川ブロック総会・第14回神奈川県産官学交流会の開催を心からお喜び申し上げます。また、神奈川ブロックの創立10周年、誠にめでたうございます。

皆様には、機械及び機械システムとその関連分野に携わる専門家として、技術者の育成、機械工学知識の普及といった活動を通じ、日ごろから、本県産業の発展にご尽力いただいております。心より感謝申し上げます。

神奈川県は、今日まで、京浜工業地帯を中核とする優れた工業力により、我が国製造業の発展をけん引してまいりました。中でも、機械産業は、皆様方が培われた世界最先端の技術力を武器に、その発展に大きく貢献してこられました。

最近の景気動向を見ますと、設備投資の増加や企業収益の改善などを背景として、ようやく景気は持ち直しに向けた動きを見せ始めたようでございます。しかし、長引く景気低迷などによって疲弊した神奈川の地域経済は、かつての活力を失っており、経済のグローバル化に伴う生産拠点の海外移転や中国等で生産される低価格製品との競争など、依然として大変厳しい状況が続いております。

このような状況から脱却し、本県経済の活性化を図るためには、バイオ、環境、新製造技術をはじめとする「先端技術産業の創出」、あるいは「高付加価値型のベンチャー企業の育成」や「既存産業の高度化」を促進することが必要になっております。幸いにして、本県には、これらの取組みを推進するために必要となる、高度な知的財産を有する大学や優れた技術力を蓄積した企業が多数立地しているとともに、首都圏という地理的に優位な環境に恵まれた京浜臨海部がございます。県といたしましては、これらの地域特性を生かして、産学公の連携や京浜臨海部の活性化などに取り組むことにより、高付加価値型の産業構造への転換を図ってまいりたいと考えております。

機械及び機械システムは、産業を支え、発展させていくためになくしてはならないものであり、皆様方の技術力のさらなる向上は、本県産業の活性化に大きな役割を担うものと考えております。とりわけ、皆様方が重点的に取り組んでおられる学生教育・技術者教育などの人材育成は、産業競争力強化の礎となるものであり、産業の活性化にとって必要不可欠なものでございます。今後とも、より積極的な取組みを展開していただきますよう、大いに期待しております。

また、貴学会の会員の皆様は、大学、企業、公的研究機関など、それぞれ異なるフィールドで活躍しておられます。その会員構成を生かした産学公連携の取組みは、このたびの交流会が14回目を迎えるなど、既に多くの実績を積み重ねておられます。県におきましても、この7月に、産学公それぞれの立場で、中小企業の技術革新を支援する各機関が一堂に会する「第1回かながわ産学公連携コーディネータ会議」を開催するなど、産学公連携は神奈川の産業構造転換を促進する大きな力であると考えておりますので、皆様方におかれましては、今後とも、地域に根差した産学公連携の活動を積極的に展開され、本県産業の活性化に、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

日本機械学会関東支部神奈川ブロックのますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

日本機械学会 関東支部
第10期 神奈川ブロック商議員

〔☆:ブロック長, ○:評議員〕

No.	氏名	勤務先	職名
1	青木 英一	ジイオテクニクスコンサルタント(有)	代表取締役
2	安藤 安則	石川島播磨重工業(株)技術企画部	部長
3	飯田 誠	(株)日立製作所生産技術研究所	主任研究員
4	内山 皓	イースタン技研(株)	取締役
5	大谷 利一	日産自動車(株)総合研究所研究推進部	主担
6	大亦 絢一郎	明治大学理工学部機械情報工学科	教授
7	大輪 武司	東芝リサーチコンサルティング(株)	チーフ・フェロー
8	太田 道也	三菱自動車工業(株)三菱ふそうトラック・バスカンパニー開発本部	統括部長
9	押野谷 康雄	東海大学工学部動力機械工学科	助教授
10	貝原 裕二	三菱重工業(株)横浜製作所環境装置技術部	企画開発グループ長
11	粕谷 平和	東海大学工学部動力機械工学科	教授
12	勝尾 正秀	湘南工科大学工学部機械工学科	助教授
13	金田 徹	関東学院大学工学部機械工学科	教授
14	川上 崇	(株)東芝研究開発センター機械・システムラボラトリー	研究主幹
15	○白鳥 正樹	横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部門	教授
16	杉内 肇	横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部門	講師
17	関 典明	関東自動車工業(株)開発本部	主査
18	田中 清志	NEC東芝スペースシステム(株)事業推進本部機械・熱システム開発部	エキスパートエンジニア
19	高橋 一郎	神奈川工科大学工学部機械工学科	教授
20	坪井 晴人	日本鋼管(株)環境エンジニアリング本部環境開発部	主幹
21	鶴野 省三	防衛大学校システム工学群機械システム工学科	教授
22	富樫 千晴	(株)いすゞ中央研究所車両研究部	主席研究員
23	富田 正一	神奈川県産業技術総合研究所材料工学部構造材料チーム	チームリーダー
24	丹羽 博志	(株)東芝電力システム社電力・産業システム技術開発センター	機器・システム開発部グループ長
25	原村 嘉彦	神奈川大学工学部機械工学科	教授
26	松本 裕昭	横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部門	助教授
27	三村 一郎	富士電機(株)エネルギー製作所	技師長
28	☆宮武 俊弘	関東学院大学工学部機械工学科	教授
29	武藤 一夫	職業能力開発総合大学校福祉工学科	講師
30	森 康彦	慶應義塾大学理工学部機械工学科	教授
31	康井 義明	東海大学工学部動力機械工学科	教授
32	山崎 信寿	慶應義塾大学理工学部機械工学科	教授
33	渡辺 和徳	(財)電力中央研究所横須賀研究所プラント熱工学部	主任研究員

(社)日本機械学会関東支部第10期神奈川ブロック運営委員会

氏名	勤務先	所属	役職	主担当
安藤 安則	石川島播磨重工(株)	技術開発本部管理部	次長	産官学交流会
植田 利久	慶應義塾大学	理工学部機械工学科	教授	産官学交流会
大石 健司	神奈川県産業技術総合研究所	企画部業務評価推進室	室長	フォーラム・産官学交流会
大谷 利一	日産自動車(株)	総合研究所研究推進部	主担	産官学交流会
押野谷 康雄	東海大学	工学部動力機械工学科	助教授	小中高校生見学会
貝原 裕二	三菱重工(株)	横浜製作所環境装置技術部	主席研究員	産官学交流会
粕谷 平和	東海大学	工学部動力機械工学科	教授	産官学交流会
勝尾 正秀	湘南工科大学	工学部機械工学科	助教授	産官学交流会
金田 徹	関東学院大学	工学部機械工学科	教授	総務・ホームページ
河西 正彦	イースタン技研(株)	本社	代表取締役社長	フォーラム
杉内 肇	横浜国立大学	大学院工学研究院システムの創生部門	講師	産官学交流会
関 典明	関東自動車工業(株)	開発本部	主査	フォーラム
高月 俊昭	(株)いすゞ中央研究所	管理室研究管理部	主席研究員	産官学交流会
高橋 一郎	神奈川工科大学	機械工学科	教授	カトップ
辻森 淳	関東学院大学	工学部機械工学科	助教授	総務
坪井 晴人	JFEエンジニアリング(株)	環境エンジニアリング事業部環境開発部	主幹	産官学交流会
橋本 克巳	電力中央研究所	エネルギー機械部		小中高校生見学会
原 邦夫	三菱ふそうトラックバス(株)	開発本部管理部	マネージャー	企業見学
原村 嘉彦	神奈川大学	工学部機械工学科	教授	フォーラム
藤本 滋	(株)東芝	電力・産業システム技術開発センター	主幹	産官学交流会
三村 一郎	富士電機システムズ(株)	川崎工場	技師長	企業見学
宮武 俊弘	関東学院大学	工学部機械工学科	教授	ブロック長
百瀬 晶	(株)アマダ	要素モジュール開発部機械構造解析グ	係長	企業見学
康井 義明	東海大学	工学部動力機械工学科	教授	総務

1-6. 事業報告および事業計画

1-6-1, 2002年度の報告および2003年度の中間報告・計画

日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
 第9期(2002年度)事業報告書
 [自 2002年3月1日 至 2003年2月28日]

ブロック長 官武 俊弘



年次	開催日		開催行事名	会場(官学先)	開催事項(行事の要否)等(予行)等	出席者数
	月	日				
2	3	5	2001年度 第6回運営委員会	産総研TV会議室	・表彰(学業優秀)について ・2001年度事業報告について ・2002年度事業計画について	14
2	4	27	学生会運営委員会	関東学院大学 工本108室	・学生会運営委員の紹介 ・2002年度事業計画等について	11
2	5	17	第1回運営委員会	産総研TV会議室	・運営委員の紹介 ・2002年度事業計画等について	14
2	7	25	第2回運営委員会	産総研TV会議室	・神奈川フォーラムについて ・小中高校生のための見学会等について	19
2	7	25	第7回神奈川フォーラム	産総研2階カンファレンスルーム	・「技術者教育について(その2)」 ・研究所の見学	61
2	8	23	小中高校生のための見学会	麒麟横浜ビアビレッジ	・ビール工場の見学 ・懇親会, ジュニア会友の案内等	32
2	9	9-10	関東学生会神奈川ブロック 夏季研修会	・電力中央研究所 ・関東学院大学 ・葉山セミナーハウス	・電力中央研究所の見学 ・学生運営委員会 ・懇親会	23
2	9	20	第3回運営委員会	産総研TV会議室	・産官学交流会について ・事業報告等について	14
2	9	28	関東学生会神奈川ブロック ソフトボール大会	神奈川大学グラウンド	雨天のため中止	
2	11	8	第4回運営委員会	(株)アマダ	・産官学交流会について ・見学会について	17
2	11	8	第13回産官学交流会	(株)アマダ 246 ホール他	・講演発表会「技術・技能・教育」(その2) ・機器展示の見学 ・表彰式, 懇親会	147
2	11	29	ブロック見学会・講演会	横浜市環境事業局金沢工場	・講演会 ・ごみ焼却場の見学	80
2	11	29	第5回運営委員会	魚菜酒家	・産官学交流会, 見学会報告 ・次年度ブロック行事について	15

日本機械学会 関東支部 神奈川ブロック
第10期(2003年度)中間事業報告と予定
(自2003年3月1日 至2003年8月31日)

開催日			会議・行事	会場 (見学先)	会議事項 (行事の場合はテーマ・講演数)	出席者 数
03	3	4	第1回運営委員会	産総研 TV 会議室	・ 表彰(学業優秀)について ・ 2002年度事業報告について ・ 2003年度事業計画について	20
03	3	5	第1回幹事会	産総研 TV 会議室	・ 2003年度運営委員について ・ 第14回産官学交流会について	6
03	3	31	第1回事業実行委員会	産総研 TV 会議室	・ 第14回産官学交流会について	9
03	5	9	第2回運営委員会	産総研 TV 会議室	・ 神奈川フォーラムについて ・ 小中高校生のための見学会等について	16
03	5	9	第1回総務会	産総研 TV 会議室	・ 神奈川ブロック運営について	5
03	5	10	第1回学生運営委員会	関東学院大学工学本館 108 室	・ 2002年度事業報告について ・ 2003年度事業計画について	15
03	6	27	第2回事業実行委員会	産総研 TV 会議室	・ 第14回産官学交流会について	10
03	7	18	第3回事業実行委員会	産総研 TV 会議室	・ 第14回産官学交流会について	3
03	7	24	第3回運営委員会	産総研 TV 会議室	・ 神奈川フォーラムについて ・ 小中高校生のための見学会等について ・ 第14回産官学交流会について ・ 企業見学会について	22
03	7	24	第8回神奈川フォーラム	産総研 2階カンファレンスルーム	・ 技術者教育(その3)	53
03	8	29	小中高校生のための見学会	・ 三菱みなとみらい技術館 ・ マリーニルージュ	・ みなとみらい技術館見学 ・ 横浜港クルーズ	52
以下(2003.9.1~2004.3.31) 予定						
03	9	12	関東学生会神奈川ブロック夏季研修会	・ 日本製鋼所見 ・ 関東学院大学葉山セミナーハウス	・ 日本製鋼所の見学 ・ 学生運営委員会 ・ 懇親会	30 (予定)
03	9	26	第4回運営委員会	産総研 TV 会議室	・ 第14回産官学交流会について ・ 事業報告等について	20 (予定)
03	10		関東学生会神奈川ブロックソフトボール大会	神奈川大学 グラウンド		
03	11	8	第5回運営委員会	横浜ベイシエラトン	・ 第14回産官学交流会について	20 (予定)
03	11	20	神奈川ブロック総会・第14回産官学交流会	横浜ベイシエラトン	・ 神奈川ブロック総会 ・ 基調講演 ・ パネルディスカッション ・ 懇親会	200 (予定)
03	12	12	神奈川ブロック見学会・講演会	富士ゼロックス海老名事業所	・ 富士ゼロックス海老名事業所の見学	60 (予定)
04	1	上旬	第5回運営委員会	未定	未定	20 (予定)

2002年9月2日

日本機械学会関東支部

神奈川ブロック長 宮武 俊弘 印

(社) 日本機械学会関東支部創立 10 周年記念

(社) 日本機械学会関東支部神奈川ブロック創立 10 周年記念

(神奈川ブロック)

第 8 回神奈川フォーラム

〈主題〉技術者教育について (その 3. 現場における教育の現状と将来)

(社)日本機械学会関東支部神奈川ブロックでは、21 世紀を迎えた現在、ものづくり神奈川の発展、工業県神奈川の将来等を大きな課題として〈技術者教育〉についてフォーラムを開催し、多方面からの話題提供を頂き、取り組んでいるところであります。

2001 年度 (第 6 回) では、若い技術者の育成について産官学の立場からの意見等について、また 2002 年度 (第 7 回) では技術者教育 (その 2) として、学生教育・技術者教育に対する産業界からの要望について検討を重ねてきました。

本年度 (第 8 回) は、技術者教育 (その 3) として、〈現場 (産業界) における教育の現状と将来〉について着目し、また社会人教育、技術者倫理、JABEE 等に関する事項、さらには中小企業が果す役割等を含めて、多方面からの話題を取り上げ、元気ある機械工業界に向けての意見交換および交流を深めることを考えております。

皆様様におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご参会頂けますよう、ここにご案内申し上げます。

記

1. 開催日 2003 年 7 月 24 日 (木) 13:30~16:30
2. 会場 神奈川県産業技術総合研究所 (略称: 産総研)
3. 参加費 無 料
4. 定員 約 60 名
5. 最寄駅 相鉄線、小田急線、JR 相模線の「海老名」駅より徒歩 17 分
6. 話題提供とディスカッション (13:30~16:30)
 - 1) 社会人技術者の体質と学力・その意外な事実とキャリアの本質的向上のために
-TOBAC の調査を中心として-
横山 隆 (横浜国立大学大学院工学研究院講師, 東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会 (TOBAC) 事務局)
 - 2) 新しい技術者教育の取り組み (継続教育, JABEE)
小口 幸成 (神奈川工科大学教授)
 - 3) 技術者教育について
落合 一夫 (富士電機 (株) 電機システムカンパニー火力事業部プラント品質保証部部長)
 - 4) 技術者倫理教育とは何を教えるか
大輪 武司 ((社)日本機械学会工学教育センター室長)
 - 5) 金型製造の技術教育について
河西 正彦 (イースタン技研代表取締役社長)
7. 申し込み方法
電話、FAX、電子メール等にて申し込みください。折り返し、当日のご案内状を発送致します。なお、定員に達した場合は、お断りすることがありますので、ご了承ください。
8. 申し込み先・問い合わせ先 〒243-0435 海老名市下今泉 705-1
神奈川県産業技術総合研究所/大石 健司
電話 (046) 236-1500/FAX (046) 236-1526/
E-mail: oishi@kanagawa-iri.go.jp

以上

(社) 日本機械学会関東支部創立 10 周年記念

(社) 日本機械学会関東支部神奈川ブロック創立 10 周年記念

関東支部神奈川ブロック
小中高校生のための見学会
「みなとみらいで科学体験」

関東支部神奈川ブロックでは、「小中高校生のための見学会」を下記の通り企画いたしました。宇宙、エネルギー、環境問題、ヘリコプター操縦シミュレーション、船と飛行機的设计シミュレーション等、最先端の科学技術を体験してもらうとともに、横浜港めぐりで夏休みの1日をお楽しみいただければと思います。宿題の追い込みにも絶好の企画かと思しますので、ふるってご参加ください。なお、小学生以下のお子様には、保護者の方が必ず同伴してください。

開催日 2003年8月29日(金) 14:00~17:50

会場 三菱みなとみらい技術館〔横浜市西区みなとみらい3丁目3-1 三菱重工横浜ビル〕/TEL (045)224-9031/URL <http://www.mhi.co.jp/museum/>

参加費 無料

定員 50名(先着順とさせていただきます)

内容

- 14:00 JR桜木町駅、動く歩道前に集合
- 14:00~14:15 三菱重工横浜ビルに移動
- 14:15~15:45 三菱みなとみらい技術館見学
- 15:45~16:15 「MM2 1ぶかりさん橋」に移動
- 16:15~17:45 遊覧船「マリーンルージュ」号で
横浜港めぐり(荒天による欠航時は中止)
- 17:50 「MM2 1ぶかりさん橋」で解散

申込み方法

下記フォーマットをご利用のうえ、E-mail、FAX等でお申し込みください。

問合せ先

〒240-0196 横須賀市長坂2-6-1 / (財)電力中央研究所 横須賀研究所
エネルギー機械部 / 橋本克巳 / 電話(046)856-2121(内線 2050) / FAX:(046)857-5829
/ E-mail:hashimo@criepi.denken.or.jp まで、お気軽にお問い合わせください。



三菱みなとみらい技術館見学会
参加者全員の集合写真



横浜港見学会出発

(社)日本機械学会関東支部関東学生会神奈川ブロック夏季研修会のご案内

拝啓

酷暑の候、先生各位ならびに神奈川ブロック学生委員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成15年度神奈川ブロック夏季研修会を下記の通り開催いたしますので、ご多忙の折大変恐縮ですが、ご参加頂けますようここにお知らせ・ご案内申し上げます。

敬具

記

1.会場

(見学場所) 株式会社 日本製鋼所 横浜製作所

住所 〒240-0196 神奈川県横浜市金沢区福浦二丁目2-1

TEL 045-781-1111 (代)

(運営委員会および研修会会場) 関東学院大学葉山セミナーハウス

住所 〒240-0100 神奈川県三浦郡葉山町1387

TEL 0468-75-0133

2.日時

平成15年9月12日(金)～13日(土)

会費：¥6,000円(2日間)

¥3,000円(1日のみ)

スケジュール

12日(金) 13:10	集合	金沢シーサイドライン福浦駅出口
13:30～15:30	見学会	(株)日本製鋼所 横浜製作所
17:00～18:00	運営委員会	葉山セミナーハウス大広間
18:00～21:00	研修会	葉山セミナーハウス大広間
13日(土) 8:00	朝食	葉山セミナーハウス食堂
10:00	解散	

連絡・問い合わせ先

〈中井 航〉 関東学院大学工学部機械工学科4年
大学所在地 〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1丁目50-1
電話 045-786-7096 (熟工学研究室) 内線2566
F A X 045-786-7098
携帯 090-9232-2073
E-mail kanto_gakuin_kikaigakkai@hotmail.com

” 原 邦夫
(三菱ふそうトラックバス(株) マネージャ)

” 三村 一郎
(富士電機(株) 技師長)

<第1部>2003年度神奈川ブロック総会<5階・日輪>・・・(13:30~14:20)

- ①あいさつ 神奈川ブロック長 宮武 俊弘
(関東学院大学 教授)
関東支部長 早山 徹
(防災科学技術研究所 理事)
②祝 辞 神奈川県知事 松沢 成文氏

③神奈川ブロック事業報告・事業計画

<第2部>第14回神奈川県産官学交流会

(主題) 工業県神奈川の将来

①基調講演<5階・日輪>・・・(14:20~14:50)

(副題)・・・

衆議院議員 甘利 明氏

②パネルディスカッション<5階・日輪>・・・(15:10~17:50)

(副題) 研究開発と技術力の向上

<座 長> 神奈川ブロック運営委員会委員 安藤 安則
(石川島播磨重工業(株) 次長)
神奈川ブロック運営委員会委員 康井 義明
(東海大学 教授)

<パ 礼 社> 日産自動車(株) 総合研究所 首席研究員 有田 正司氏
(株) 東芝 常務取締役 有信 睦弘氏
慶応義塾大学 理工学部長 稲崎 一郎氏
(財) 神奈川中小企業センター 統括マネージャー 小林 康夫氏
横浜国立大学大学院 工学研究院長 白鳥 正樹氏
関東化成工業(株) 代表取締役社長 福原 國晃氏
神奈川県議会議員 保阪 努氏
神奈川県産業技術総合研究所 副所長 馬来 義弘氏

<第3部>懇親会<4階・清流>・・・(18:00~19:30)

①神奈川ブロック表彰式

②乾 杯 (懇 談)

8. 会 費 一 般 金 7,000 円/人
学 生 金 5,000 円/人 (但し、産官学交流会参加費として)
なお、会費は当日会場にて徴収させていただきます。

9. 参加人数 約 200 名 (申し込み順とさせていただきます)

10. 参加申し込み方法

「産官学交流会申し込み」と明記し、所属の企業・団体・大学名および部署・役職名・氏名・資料等の送付先 (E-mail, FAX または住所等) を下記の申し込み先に E-mail, FAX 等でお申し込みください。

11. 参加申し込み先

関東学院大学 工学部 機械工学科 賀羽 宏之

FAX : 046 (786) 7098

E-mail:kawa@kanto-gakuin.ac.jp

12. 問い合わせ先

関東学院大学 工学部 機械工学科

助教授 辻森 淳 (神奈川ブロック運営委員会幹事)

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1

TEL/FAX : 045 (786) 7842

E-mail:tujimori@kanto-gakuin.ac.jp

13. 年次総集の発刊

2003 年度神奈川ブロック年次総集 (パネルディスカッション資料集を含む) を発刊し、当日会場にて参加者に配布する。また、過去の資料等を整理して、記録として残すこととする。

(神奈川ブロック) 企業見学会・講演会
富士ゼロックス海老名事業所

開催日時 2003年12月12日(金) 13:30~16:00

見学先 富士ゼロックス株式会社 海老名事業所(神奈川県海老名市本郷2274)

主旨 昨年創立40周年を迎えた富士ゼロックス社は、複写機の製造のみならず、Open Office Frontier という新しいビジョンを掲げ、企業間に開かれた創造的オフィス環境の提案を目指しています。さらに、限りなく「廃棄ゼロ」を目標とした資源の再活用を推進し、リサイクルラインと生産ラインとを一体化したクローズド・ループシステムを稼働させています。地球規模での環境対策が急務な現在、リサイクルに積極的に取り組んでいる富士ゼロックス海老名事業所のリサイクルラインと生産ラインの見学と講演とを企画しました。興味ある見学会・講演会です。奮ってご参加下さい。

内容

12:40 / 相鉄線海老名駅東口①番バス停留所に集合
13:30~14:00 / 挨拶, 工場概要説明
14:00~14:50 / 講演: 富士ゼロックスにおける資源循環システムの実践
15:00~15:45 / 工場見学
複写機リサイクルラインと生産ラインの見学
15:45~16:00 / 質疑応答

交通 相鉄線/小田急線/JR相模線海老名駅にて下車
東口バス乗り場より海老名事業所まで無料バスを利用

定員 約65名(先着順とし、満員になりましたら締め切らせていただきます)

参加費 無料

申込方法 「神奈川ブロック見学会・講演会」と題記し、①氏名、②連絡先住所、③電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、④所属の企業、団体、大学名および部署名・学科、学年等を明記の上、E-mail、FAXまたははがき(できればE-mailでの申し込みをお願いします)でお申し込み下さい。

申込先 株式会社アマダ 要素ソリューション開発部 百瀬 晶
〒259-1196 伊勢原市石田200
E-mail amomose@amada.co.jp FAX 0463-91-8016

ご注意

- ・同業種企業の方の参加は、ご遠慮願います。
- ・工場見学時では写真撮影と喫煙は禁止です。
- ・人数確定後、見学先の上承を得た上で参加券・案内状をお送りいたします。したがって、発送は開催期日間際となりますのでご了解願います。また、同一組織からの申し込み多数の場合は人数制限をさせていただく場合があります。ご了承下さい。

日本機械学会関東支部神奈川ブロック

表彰者一覧

【感謝状】

神奈川県産業技術総合研究所 殿
株式会社日本製鋼所横浜製作所 殿
三菱みなとみらい技術館 殿
甘利 明 殿 (衆議院議員・元労働大臣)
有田 正司 殿 (日産自動車(株)総合研究所 首席研究員)
有信 睦弘 殿 ((株)東芝 常務取締役)
稲崎 一郎 殿 (慶応義塾大学 理工学部長)
小林 康夫 殿 ((財)神奈川中小企業センター 統括マネージャー)
白鳥 正樹 殿 (横浜国立大学大学院 工学研究院長)
福原 國晃 殿 (関東化成工業(株)代表取締役社長)
保阪 努 殿 (神奈川県議会議員)
馬來 義弘 殿 (神奈川県産業技術総合研究所 副所長)

【功績賞】

安藤 安則 石川島播磨重工業(株)技術開発本部次長
植田 利久 慶應義塾大学理工学部教授
白鳥 正樹 横浜国立大学大学院工学研究院長・教授
坪井 晴人 JFEエンジニアリング(株)
環境エンジニアリング事業部ACWプロジェクトチーム部長
松本 裕昭 横浜国立大学大学院工学研究院教授
渡辺 和徳 (財)電力中央研究所横須賀研究所
エネルギー機械部主任研究員

【技術賞】

株式会社オーテックジャパン
理由：特装車用エンジン等に関する技術開発
推薦人：東海大学工学部教授 康井 義明
(神奈川ブロック運営委員会委員)

日本ピーマック株式会社

理 由：2管式冷温水システムによる同時冷暖房化に関する技術開発

推薦人：関東学院大学工学部教授 宮武 俊弘

(神奈川ブロック運営委員会委員)

【学生奨励賞】

宝蔵寺 泰光 東海大学工学部

松下 智未 関東学院大学工学部